

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103276
法人名	株式会社 プロGRESS
事業所名	グループホーム 愛愛
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野二丁目36番15号 (電話) 099-244-8876
自己評価作成日	平成29年9月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4670103276&amp;SCD=320&amp;PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=4670103276&amp;SCD=320&amp;PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者様の排泄の習慣を把握し、最後までトイレにて排泄が行えるように支援している。  
又、その事が生活・身体面の向上につながり、寝たきりの生活防止につとめている。
- ・24時間体制の医療連携体制を整え、関係医療機関との連携や看護師・職員との連絡を密にし、日々の健康管理から緊急時対応まで充実させて安全に生活できるように努めている。
- ・一日の人員配置を看護師を含む職員で3.5~4.0人とし、より安全に細やかなサービスができるように努めている。
- ・当法人代表が(鷹之巣工房)と名称を付けた場所で、その季節に合わせた野菜の収穫・カラオケ大会・花見・ソーメン流し・焼き芋・ピザなどで楽しめるように準備・手配を下さし、職員と利用者や地域の方々が協力して収穫、栄養士が中心となって計画を立て年間の楽しみになっている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、看護師の配置による日常の健康管理や緊急時の対応を含む24時間の医療連携体制を整えており、利用者・家族及び職員の健康・医療面における安心となっている。
- ・自治会に加入し、七夕の飾り作りやマジックショーなどの地域行事に参加したり、ホームの運動会や敬老会には地域住民の参加がある。また、地域に開放している法人施設の鷹之巣工房で、住民と一緒に楽しむイベントを実施したり、中学生の職場体験学習受け入れや保育園児との交流など、地域との交流を積極的に行っている。
- ・職員を基準より多く配置し、利用者一人ひとりへの目配りをして、季節を感じたり生活を楽しんでもらえるようイベントを計画し工夫している。
- ・利用者の誕生日の手紙や歳の祝いなどを行い、家族や職員とのコミュニケーションを図っている。
- ・代表者や管理者は良好な就業環境を作れるよう取り組んでおり、職員の質の向上を図るために資格取得の支援も行っている。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所理念はホーム内の目に付く所へ掲示し、いつでも確認できるようにしている。各職員理解の上、日々のケアについて話し合っている。</p>	<p>地域密着型サービスを踏まえた理念を、玄関・トイレに掲示し、パンフレット・重要事項説明書にも記載している。ミーティングや職員会議でケアについての取組を話し合い、確認しながら実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>事業所の敬老会や運動会などに、多くの地域住民の参加を頂いており、地域の一員として暮らせる事を大切にしている。</p>	<p>町内会に加入し、地域の行事に参加している。ホームの行事の敬老会・運動会・クリスマス会には、地域の方やボランティアが多く来所している。幼稚園児や中学生との交流や近隣から野菜の差し入れなどもあり、日常的に地域と交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>日常支援を大事にしつつ、日々の交流や行事参加時に、地域の方達からの疑問や不安にお答えする事で、認知症への理解を頂けるように情報提供に努めている。</p>	/	/

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に開催を行い、事業所の現状報告や地域行事の案内などの報告を行っている。それに対しての意見・要望を職員会議で検討し、サービスの向上に活かしている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催している。活動内容の報告や事故・ヒヤリハット・外部評価の報告等を行い、家族の参加者も多い。毎回、テーマを決めて活発に意見交換している。口腔ケアについて質問が出され、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者とは、認定更新時や必要に応じて情報交換行いアドバイスを頂いている。市主催の研修会にも積極的に参加し、生活保護の担当者とも連携をとり関係性を築いている。</p>	<p>市の担当者とは、書類更新や福祉関係で必要に応じて窓口に出かけ相談やアドバイスを貰っている。介護相談員も受け入れている。市主催の研修会には、積極的に参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、全ての職員が利用者様の現状を理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。職員会議などを利用して、定期的に研修や検討を行っている。</p>	<p>事例を基に身体拘束廃止委員会を定期的で開催している。不適切な言葉使いはその場で注意を促したり、外出希望の利用者には散歩等で同行する等、職員の見配りと連携で制限のない生活を支援している。やむを得ず拘束が必要な時は、家族に同意を得て、記録している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全ての職員が、利用者様の身体的・精神的な小さな変化も見逃さないように日々の観察に注意する事で虐待防止に努め、研修参加により理解を深めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ホーム内での職員ミーティング・研修へ参加し学ぶ機会を持ち、利用者様に合わせて活用できるように支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居前、個人及び家族との面談で十分説明を行い、理解・納得して頂いている。改定があった場合も書面にて説明し、同意の署名を頂き理解してもらうように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や毎月の電話での情報報告、運営推進会議で意見・要望をお聞きし、職員会議で検討・実践できるように努めている。</p>	<p>利用者には、日々の関わりの中で思いを聞いたり、介護相談員からのアドバイスも受けている。家族には、運営推進会議や年2回の家族会・面会時等に声掛けして要望を聞き、その都度対応している。利用者からの要望で個人的に新聞購読をする等、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員とのコミュニケーションを図り、毎月の全体ミーティング時に職員の気づきや意見・提案を聞き、全体の職員会議で話し合い反映を図るように心掛けている。</p>	<p>管理者はユニット毎のミーティングや全体の職員会議で意見や要望を聞き話し合っている。活発に意見が出され、食事のメニューや花見について・職員の勤務に関する事・行事について等、提案は運営に反映している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、管理者と職員の日々の努力や実情を常に把握し、働きやすい環境作りを考慮して、職員処遇へ反映や向上心を持って、働けるように配慮している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間の研修予定を立て、職員の知識の向上を目標とし研修参加の確保を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所での研修やグループホーム協議会へ参加し、情報交換を行う事でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様の安心を確保する為、本人の様子観察・会話・訴えなどに耳を傾け、困っている声・要望を見つけ、その人らしい生活ができるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が面会に来られた際の要望・意見を参考に、安心して入居して頂く環境作り・協力体制に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族が必要としているサービスを提供できるように、施設見学・お試し入居して頂き、見極めと支援に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の尊厳を守り、他入居者様の方々とも仲良く過ごして頂けるように、良好な人間関係作りに努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人と家族の絆を大切にしながら、日々の様子など各利用者様の状態を面会時や電話にて報告を行い、ご家族と共に支援体制を作っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族の協力を頂き、ご本人と関係のある友人・知人との面会や思い出の場所への外出などができ、なじみの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	<p>面会者が多く、知人や集落の方の訪問の時はお茶を出している。年賀状やハガキの取次ぎや支援も行っている。家族の協力もあり、外食や子供の家に出かけたり、買い物・温泉・法事・墓参り等に出かけている。馴染みの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>第一に利用者様個人をよく理解することが大切であり、その後に利用者同士の関係の理解に努め、トラブルの無い孤立しない暮らしを楽しめるような支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用終了後も季節ごとのお便りを差し上げて近況を伺ったり、電話での相談や面会などの支援に努める。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様がその人らしく、暮らして行けるよう希望や意向の把握に努め、職員ミーティングなど利用して随時検討している。	日常の暮らしの中で会話等から、本人の思いを把握するように務めている。意思表示が困難な場合は、表情・仕草・行動等から推測したり、家族からも状況を聞いている。申し送りノート等に記録し、ミーティング時に話し合い、本人の思いに沿うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自分らしく暮らしていく支援をするため利用者様の生活暦、プライバシーに配慮し職員、本人、家族と良好な関係を保つように努める。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの健康状態を観察し、今出来る事と出来ない事の判断を行い、無理の無い充実した毎日を過ごして頂けるように、職員全員で見守り支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態や変化を観察を行い、ご家族や関係者・主治医の意見を参考に介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、本人状態変化に合わせて見直し作成している。	利用者・家族の要望や主治医の意見を取り入れ、職員の気付きを話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、状況変化時及び6ヶ月毎に介護計画を見直している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の様子やケアについて個別記録に記入・確認している。月に一度職員ミーティングで情報を共有し、介護計画の見直しがあれば実践し活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族のそのときの状況やニーズに応じて、必要なサービスや支援の方法を考え対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>長寿あんしん相談センター、民生委員、ボランティア、理美容室、消防等の関わりを大切に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の同意のもと、毎週主治医の往診をお願いしている。その他の専門医への受診については、家族の要望に合わせて病院の紹介・受診ができるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医である。協力医の往診は週に1回ある。精神科は家族と職員が同行している。歯科は訪問診療である。訪問看護は必要な時に家族と契約している。緊急時の対応等、連携を取ながら適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>異常の早期発見が行えるよう、職員間での情報交換をしっかりと行い、看護職員と協力しケアにあたっている。医療機関との連絡は適切に行えているが、急変時の連携がしっかりと行えるよう、繰り返し取り組んでいく必要がある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時は医療機関との連携を図り、利用者様の状態が悪化する事無く、またストレスを少しでも軽減できる様、情報交換をしっかりと行っていく。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医・ご家族を含め、急変時やターミナルケアについての説明の場を設け、施設内でできる内容を十分に説明しながら方針の共有を行い、十分な支援が出来るよう努める。</p>	<p>入居時、アンケートをとり、同意書を貰っている。重度化した場合は、方針を家族と話し合っている。看取りでは、主治医往診や訪問看護・家族の協力も含め、家族の意向を確認しながら、利用者にとって、ベストな支援に取り組んでいる。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時の対応マニュアルを作成している。また、実際にあった急変時等の事案を職員間で確認し、検討を行っている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間の職員研修内において、消防署の協力を頂きながら、年2回消防訓練を行い、災害時に迅速に対応できるよう取り組んでいる。</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。1回は消防署立ち合いで昼夜想定して実施し、1回は自主訓練である。緊急通報装置の設置があり、近隣の住民にも協力を依頼している。備蓄は有料老人ホームに水・缶詰・パックご飯・ラーメン・パン等、用意している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常業務において、個々の人格を尊重しケアに当たるよう、全職員が各自気をつけている。またミーティング等にて声かけや対応時の確認・検討を行っている。	マニュアルがあり、事例を参考に接遇の研修会を行っている。人としての尊厳を守り、馴れ合いにならない・できることは認める・嫌がることはしない・言葉づかいは丁寧等に等、日頃から、ミーティング等でも確認している。名前の呼び方・排泄介助・入室時等に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な利用者様がいる中で、個々に合った対応を行い、それぞれの意思や訴えを表出できるよう支援している。しかしながら、発語困難者の自己決定は難しく、今後研修等を行いながら、本人の意に沿った対応が行えるよう努めて行く必要がある。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	高齢・認知症の進行に伴い、個々のADL低下が見られる中、一人ひとりに合ったケアを提供出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替え等においては、後家族の協力もいただきながら、沢山の中から選べるよう支援している。また身だしなみも、ご本人様の気持ちを尊重しながら行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士が献立を作成し、栄養管理を行っている。季節毎に旬の材料を使用したり、食事の好みの把握・行事などで外食するなど、楽しみながら食事が出来るよう支援している。	旬の食材を取り入れ、ミキサー食や刻み食にも対応している。ひな祭りや端午の節句・誕生会のケーキ・運動会・クリスマス会・外食等、楽しみのある食事を提供し喜ばれている。利用者と一緒にお盆ふきや下膳をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量、大きさ、栄養バランス、水分量を一日通して確保出来る細やかな声かけ行い提供できるように支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後声かけにて誘導行い、その方に状態に応じて付き添い口腔ケアを行っている。必要に応じて定期的な訪問歯科による検診や治療も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、失禁やオムツ使用をできるだけ減らすように努めている。各々の排泄リズムを把握し定時での声かけ・誘導を行い支援している。夜間帯も殆どトイレでの排泄ができています。	排泄の時間帯を把握し、昼夜を問わず一人ひとりの力を活かしながら声掛けや誘導で、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。見守りや確認のみの自立した利用者もいる。布パンツに改善できた事例がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックの記録を行い、できるだけ自然排便を促すために、運動・水分・食事に工夫するように努めている。牛乳やヨーグルトの提供も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人の体調に合わせて入浴出来るように調整している。できるだけ湯船に浸かって頂き、ゆったりと入浴を楽しめ満足して頂けるように支援している。	入浴は週に3回、午前中が基本であるが、体調や気分的な希望にも柔軟に対応している。入浴を嫌がる利用者には、無理強いせず、人や時間を変えて声掛けをしている。失禁時はシャワー浴で支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の体調に合わせて、必要に応じて短時間でのベット臥床や午後1時間程度のお昼寝も設けている。20時ごろ水分摂取として、温かい飲み物を提供している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服一覧表や変更ノートなどで内容の把握や確認を行っている。又、内服チェックリストを使用し二重の確認を行い、職員全員で誤薬のないように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎食後の食器拭き、朝の掃除のモップかけ、夕方の洗濯物たたみなどのお手伝い等から、生活作業を少しでも思い出していたきながら個々に合わせた支援を行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者の皆様の高齢化もあり、日々困難になりつつあるが、気温、天気の安定した日には個々の体調を見ながら、ドライブや散歩を心がけている。ご家族にもお願いして、一緒に外出や外食などの機会を作って頂き支援している。</p>	<p>気候の良い日は、体調を観察して玄関前のベンチでの日光浴や近隣の散歩をしている。車椅子の利用者が多いので、ドライブや散歩にでかけ楽しんでいる。年間計画を立てて、初詣や弁当持参の季節の花見・そうめん流し等に出かけている。家族と外食や外出する利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時の取り決めにより、お金の所持はお断りをしている。利用者様からのご希望がある場合は、ご家族様へ確認を取り、事業所の立替で購入できるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族との関係を築く手段として、電話や手紙の活用を行っている。病状の進行に伴い利用者様全員がおできになる訳ではないので、ホームへの訪問回数を増やして頂き、直接お顔を見てお話を下さるようお願いをしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れる為に、自宅から位牌や写真・時計など使い馴れた物など持ち込まれ、安心して過ごせるように心がけている。月1回のペースで貼り絵、塗り絵、書道等の共同制作に取り組み雰囲気づくりに努めています。	ホールは、高窓からの採光が入り広くて明るい。室温・湿度・換気の配慮を行い加湿器等で調節されている。季節感のある作品や行事の写真が飾られている。対面キッチンからも室内が見渡せる。好きな場所で思い思いに居心地良く過ごせるように、ソファを配置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士の関係性を理解し、ホール内での席の配置や過ごし方に配慮している。共同の場として、テレビやソファを設けお互いの憩いの場所づくりに工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具・写真・仏壇などを持ち込まれ、家族とのつながりや思い出を感じて頂きながら、安心して心地よく過ごせるよう工夫をしている。	居室にエアコン・ベッド・タンス・加湿器・ソファを設置し、利用者が必要に応じて机や仏壇・時計などを持ち込んだり、位牌や写真を置いて、本人が安心して過ごせるよう、居心地よい工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各々の身体状況に合わせて、出来るだけ自立に向けた生活ができるように、フローアー・トイレ・浴室などに手すりを設置し、生活に必要な場所は、分かり易く文字や絵で示し掲示している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない